

＝終末にあつての情報の仕分け＝

1. 食物規定 カシュルート：食物規定 レビ 11 章、申命記 14 章

動物で食べてもよいもの：ひづめが分かれていることと、反芻するもの、この2つの条件を満たす動物。

2. 食物規定は何のため？

- ・ 食物規定の目的：11：45 聖であるため。汚れないため。
 - ・ 食物は、靈的には言葉（いわゆる言霊）にあたる。エゼキエル 2:8-3:3、エレミヤ 15:16
- ① ひづめが分かれている 偶蹄類動物 ⇒足の裏が直接地に触れていない。この世からの分離。
- ② 反芻（はんすう）⇒ 聖書を反芻している。思い巡らせる。
ルカ 2:10-19、詩篇 1:1-3、詩篇 119

3. 情報が氾濫している時代。

- ・ インターネットは一般の人々の情報の発信と受信を容易にし、その結果人々が得られる情報の量は巨大化。しかし情報量が増えたことと情報が豊かになったこととは異なる。むしろ質の悪い情報が肥大化。

4. 情報が氾濫する時代では、清い言葉と汚れた言葉を見分ける力が必要。

過越しの後、荒野において食物として天からマナが与えられた。出 16:1-4

荒野ではエジプトの食べ物を欲し、ウズラの肉を食べ食中毒に。民 11 章

過越しの祭りでイエスが屠られ、御言葉のマナが与えられる。ヨハネ 6:48-51

- ① 天からの御言葉で、かつ反芻された情報を見分ける。 ⇒清い情報と汚れた情報を見分ける必要。
- ② 刺激的なこの世の言葉を取りすぎ、食中毒にならないように注意。

結論

ヘブル 5:14 しかし、堅い食物はおとなの物であつて、経験によって良い物と悪い物とを見分ける感覚を訓練された人たちの物です。